

議会 とよとみ

豊富町議会広報紙

12月定例会 [12月14日]

豊富町議会からのお知らせ

12月定例会特集	2
議会が町のコトチェック	4
一般質問	6
高校生議会特集	9
議会レポート	14
気になるあの人に聞いてみました	15
高校生の声・中学生の声	16

「議会とよとみ」はスマートフォンでも見られます



PICK UP

燃油等の価格高騰による被害は農業にも 国の農業予算や運用変更に関する意見書の提出



提出内容

意見案第12号

燃油等の価格高騰対策、国の農業予算や運用変更に関する意見書

新型コロナウイルスの感染拡大により世界的に停滞していた経済活動が回復期に入ったことから、原油需要が拡大するなど価格上昇が続いています。

そうした中、農業生産に欠かすことのできない動力機械や施設ハウスに使用する燃料は、昨年より価格上昇が続いている一方で、コロナ禍により農産物価格が低迷しており、農業経営は圧迫しています。

さらに、全額国費負担で行われてきた新規就農を支援する事業は、来年度より地方負担が伴われる内容へ変更され、地方自治法の財源によって十分な支援が受けられない就農者が発生する可能性があることから、燃油等の価格高騰対策などについて関係機関に強く要望します。

提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、外務大臣、農林水産大臣

PICK UP

健診結果の利活用へ 健康管理システム事業費を予算計上



新規事業

豊富町一般会計補正予算

保健予防係では、健（検）診結果の利活用に向けた情報標準化整備委託料425万円を計上しました。

こちらの事業は、電子化した健（検）診結果を転居時に市町村間で引き継がれるような仕組みを作り、個人が一元化した情報を確認できるよう構築するのが目的です。患者に対する医療最適化や、医療現場の業務効率化も期待できるメリットがあります。



こちらをご覧ください！

燃油等の価格高騰対策、国の農業予算や運用変更に関する意見書



12月定例会では、16件の議案が提案され、全て原案可決となりました。
今回は、条例改正案、一般会計、意見書についてご紹介いたします。

PICK UP

的確で効率的な住民サービスに向けて

条例改正

簡易水道会計・下水道会計が公営企業会計へ移行

簡易水道事業・下水道事業条例の一部改正

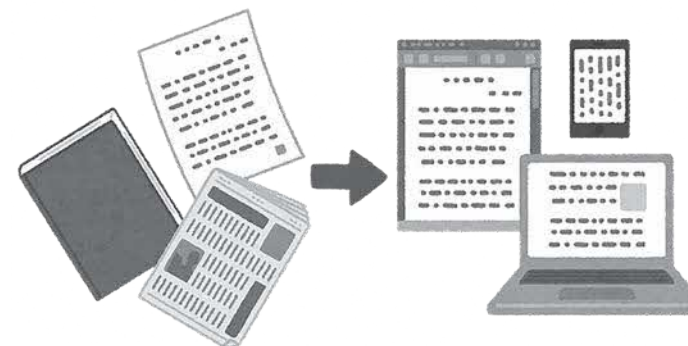
総務省では、地方公共団体が民間企業と同様の公営企業法を適用した「公営企業会計」に移行し、経営・資産等の状況の正確な把握、弾力的な経営等を実現することを推進しています。

本町簡易水道事業・下水道事業においても、地方公営企業法を適用し、特別会計から公営企業会計へ移行するため、事業の条例の一部を改正しました。

なお、地方公営企業法の適用は主に会計方法の変更であり、町民の皆様に直接の影響はありません。

豊富町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正

デジタル化推進に伴い、保育園で作成を行う書類や、保育園と保護者間での手続きに関する書類について、電磁的方法による対応もできるよう内閣府により改正があったため、それに伴い本町の条例の一部を改正しました。



こちらをご覧ください！

令和3年 定例会・臨時会 賛否の公表



12月定例会

住民サービスの充実とコロナ被害への支援



町長から提案された予算案等は、総務産業常任委員会・予算決算常任委員会等で慎重に審議が行われます。「豊富町はどのくらい？ 私たちの税金はどんな」に使用されているの？」委員会では、そんな疑問を解消するため議員から町の執行部へ様々な質問が投げかけられます。実際に行われた議員の質問と町の回答を一部ご紹介します。

新型コロナウイルスワクチンの追加接種(3回目)

Q ワクチン未接種者の人数とその対応は？

A これから3回目のワクチン接種が始まるが、まだ一度も打たれていない町民の割合と、未接種者はこれから1回目を打つことは可能なのか。

A おおよそ1割程度の未接種者、希望される方については継続して接種できるよう対応する

Q 1割程度未接種の方がおり、3回目の接種は始まるが、これから1回目のワクチン接種を希望される方は継続して周知対応しているのか。

Q 3回目のワクチン接種者の優先順位は？

A 1回目のワクチン接種には接種者の優先順位があったが、3回目については設けられているのか。

A 接種後8カ月以上経過した者からの接種となるため決まりはない

Q 3回目のワクチン接種については、接種後8カ月以上経過した者からとなっているため優先順位については設けておらず、早く接種が完了した者から開始していく。また、1回目では医療従事者を優先して接種を行ったため、3回目のワクチン接種も医療従事者から開始していく。

豊富町特別会計条例の一部を改正する条例

Q 簡易水道・下水道事業会計の現段階の状況は

A 公営企業会計へ移行となるが、歳入と歳出の均衡がとれていない中で、今後も財政的な弊害があるのか。

A 財政的には厳しい状況だが、公営企業会計へ移行し資産の把握を行う

Q 現状、下水道事業は赤字収支となっており、簡易水道事業は黒字ではあるが、機械の更新や老朽化

Q SNS等を活用した情報発信は行えるのか

A デジタル化をして情報発信等を行うことは、SNSを活用して保護者との連絡や手続きを行うことができるのか。

A セキュリティ上の問題によりSNSの使用はできない

Q 保育園から保護者全体へ緊急の連絡がある場合の対応は

A 急遽天候等により保育園が休園になった場合、保護者にはどのような連絡をとっているのか。

A 民間のアプリを使用している

Q 民間のアプリを保護者に登録していただき、そこから緊急の連絡をお知らせしている。

した水道管の更新などを考えると投資がかさみ今後は非常に厳しい状況である。公営企業会計へ移行し資産の把握を行い、今後の対応を検討していく。



Q 現在の減免する物の帳簿価格の整合性は？

A 普通財産の貸付料の減免(サロベツカントリークラブ)

議会とよとみ表紙写真募集中!

豊富町議会では、町民の皆様が撮影した写真及びメッセージを募集しております。ご応募いただいた中から選考し「議会とよとみ」の表紙とさせていただきます。たくさんのご応募お待ちしております!

応募資格 豊富町在住の方
募集内容 風景・人物問わず豊富町で撮影したもの。豊富町を元気にする写真と100文字以内のメッセージを募集します。笑顔になれる子どもや大人の写真、心癒される風景の写真などをお待ちしております! サイズはできるだけ大きく、ファイルはJPG形式でお願いします。

募集期間 随時募集
応募方法 下記アドレスにて、件名「議会とよとみの表紙写真」と書き、本文にメッセージと連絡先(電話番号、氏名、住所)を記入の上、写真を送付ください。
gikaijimukyoku@town.toyotomi.hokkaido.jp

A 減免の金額については見直す
以前より同じ金額で減免を続けているため、契約期間満了となるまでに見直しをしていきたい。

Q 減免の金額が決められていると建物や備品の改修ができないのでは
建物や備品を改修したくても減免の金額が決められているため行えない、改修の必要があるものについては金額にこだわらず減免すべき。

A 契約の内容をお互いに協議して決定している金額
備品の増減や建物の減価償却費などに基づき、契約内容を双方協議して決定している。

が以前と変わらないが、減免の対象となる備品や建物の現在の帳簿価格と減免の金額に整合性はあるのか。

サロベツ住宅建設促進条例

Q 住宅を建設するのに条件をつける必要があるのか
町民に住宅の建設を促進するための条例であるのに、個人が建てる住宅に細かい条件をつけてしまうことで希望する住宅を建てられなくなれば、条例の趣旨にそぐわないのではないか。

A 条例の内容を見直し検討する
住宅建設を促進するための条例であるため、時代に即した内容に変更していく必要がある。しかし、条例の施工期日が定められているため、次期の改正に向けて内容を検討する。

豊富町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

佐々木政義 議員

問 小型家電リサイクル回収ボックスについて
問う！

答 効率的な回収を図るため設置に向けて協議・検討を行う。

質問

携帯電話やデジタルカメラなどの使用済小型家電に含まれるアルミニウム・貴金属・レアメタルなどの回収を進める小型家電リサイクル法が平成25年4月から施行されていますが、当町においても排出者が直接持込できる回収ボックスを設置して再資源化を図るべきだと思います。

答

現在、本町における使用済小型電子機器等の処理につきましては、西天北五町衛生施設組合による資源ごみの「金属類ごみ」として回収され、また、指定ごみ袋に入らない物は「粗大ごみ」として回収され、分別後に認定事業者へ引き渡すことにより再資源化を図っている状況です。回収ボックスを設置しては、回収ボックスを設置しては、りませんが、本町としましては、今後町民の皆様とのニーズや、更なる利便性、効率的な回収を図るため、お話を伺いながら関係する皆様と協議、検討を行ってまいります。

再質問

金属ごみにつきましては、指定ごみ袋が満杯にならず片付かないというお声を町民の方より聞いており、金属ごみが溜まるまで放置しておくことが現状となっておりますので、前向きな検討のほどよろしくお願ひします。

答

関係機関等どこに設置するのが良いのか、どれだけのニーズがあるのかを調査して協議を進めてまいります。



回収ボックスを設置しては、りませんが、本町としましては、今後町民の皆様とのニーズや、更なる利便性、効率的な回収を図るため、お話を伺いながら関係する皆様と協議、検討を行ってまいります。



竹中 隆浩 議員

問 運転手不足について問う！

答 商工会等と連携を密に効果的な支援策を検討していく。

質問

豊富町の除雪委託業者は3社で、社員や冬期雇用の大型車輛・大型特殊車輛に携わる50歳未満の運転手は3社合わせて5名程度と聞いています。

答

このまま先を考えますと、長時間労働や、75歳以上の義務である高齢者四つ葉マークを付けた除雪車が走らざるを得ない時代が予想されます。豊富町内では、除雪の他に土砂を運ぶ運送業、牛乳を運ぶ運送業、スクールバスなども共通な課題です。町民のライフラインを守るためにも、商工業の活性化や人材育成、事前対策が必要だと思えます。

運転手不足につきましては、改正道路交通法の施行なども要因となり、業界全体の問題となっております。多くの自治体で、大変深刻な課題となっております。

現在、管内10市町村により構成される「稚内地方通年雇用促進協議会」において、企業向けの人材確保支援や季節労働対策の各種セミナーの実施や、また、建

設業が必要とされる各種資格に向けた講習会の開催と取得費用の一部助成などの取り組みも実施されているところではありますが、十分な人材確保には至っていない状況です。また、町内の各事業者においてもそれぞれ人材確保に努められておりますが、非常に厳しい状況であるとお聞きしています。町としましては、町民の皆様の生活を支えるライフラインを守るためにも、商工業の活性化や人材育成は必要であると考えており、今後「稚内地方通年雇用促進協議会」で実施する人材確保支援策のPR活用やU・J・ターン新規就業支援事業の活用促進を図ると共に、商工会などとも連携を密に効果的な支援策などを検討してまいります。なお、除雪業務における運転手不足につきましては、国土交通省においても深刻な問題と捉えており、オペレーター育成の一環として、夏場の工事発注も増やしていきたいとお聞きしています。

一般質問とは？

議員が町の事務の執行状況や将来の方針について町長などに説明・報告を求め、町が町民のための適切な町政運営を進めているかを確認するものです。今回は3名の議員から一般質問が提出されたのでご紹介いたします。



高校生が町の考えを問う！

高校生議会 特集

10月15日に豊富高校3年生の皆さんにご協力いただき、高校生議会を開催いたしました。

高校生の皆さんには、本番と同じように議席に座っていただき、町執行側へ一問一答方式で一般質問をしていただきました。

また、一般質問では、今後の議論の参考となる意見や要望が多く、これからの豊富町を担う若い世代への期待がより一層高まりました。

今回は高校生より提言された一般質問をご紹介します。



- 質問順
- 1 越後 優太 議員 → 豊富から温泉を結ぶバスについて
 - 2 酒井 光輝 議員 → 保育士不足について
 - 3 金内 優翔 議員 → 公園設立について
 - 4 竹田 考汰 議員 → 道路整備について
 - 5 太田 実那 議員 → 道の駅設立の提案について
 - 6 酒井 基紀 議員 → スタディサプリの導入について



小笠原照美 議員

問 商工業の経営力向上対策等について問う！

答 商工業の振興に向け、関係機関と連携し協議を行う。

質問

現在、豊富町商工業活性化事業条例により町内の商工業経済の活性化に成果をあげているところですが、現行条例では、店舗の新築及び店舗備品の購入等とされています。今後は、商工業者が工夫・改善による新たな取組を実施する際の経費を助成し、商工業者がその特性に応じた持続的な発展を図ることができるよう、事業の用に供する機械装置、車両重機、運搬具、工具・器具等の購入費に支援をし、経営力向上に取り組むべきと考えます。

答

車両・重機等の購入につきましては、自家用車との区別が難しいことや車両を売買される可能性があると、また、各種事業者などから相当数の要望が見込まれ、財源の確保が厳しいことなどが想定され、補助対象外としています。今後、車両等購入に対する支援につきましては、支援要請も多々あると伺っておりますので、取扱いは関係する団体の皆様

とも協議を進めていき、財源確保の見直しも含め検討させていただきたいと考えております。

再質問

他の自治体では、小規模な複合施設を作り、各店舗一体となって運営していくことが工夫として進められておりますが、本町では、一店舗一業種を経営している店舗がほとんどであり、今後は人口減少等により運営が難しくなっていくと見えます。町と民間業者が協力し、小規模な複合施設を作り、町民が切に希望している本屋、お菓子屋、花屋等の店舗の運営をしていく必要があると考えます。

答

本町の店舗は居住空間と一体となっていくことや、商工業の担い手が少ないことなどによる課題を踏まえ、今後はまちづくりも含めて小規模なショッピングモール等が作れるよう商工会と連携し、本町の商工業の振興に向け検討していきます。

再々質問

現在進められている空き家対策を

利用し、本町の空き店舗を小規模な複合施設として設置することもできると思っています。本町の空き家対策はなかなか進んでいませんが、これをどう捉えて今後商店街を再構築していくのか伺います。

答

新しい店舗を作るには空き家対策を進めていかなければなりません。これには非常に課題が多く、一軒の空き家処理するのに2〜3年の月日がかかっているのが現状です。今後も、町民の皆様からご理解をいただきながら、空き家対策を進めていきたいと考えています。

道路整備について問う！

竹田 考汰 議員



優先順位を定め、町民が安全に通行できるように道路整備を進める。

町長 近年、町道において傷んでいる路線が増えてきており、農作業機械の大型化、町内での風力発電や蓄電池建設工事など大型車両が頻繁に通ることも原因のひとつではないかと推測しています。日々の道路維持業務の中でも点検を行いながら、緊急的に修繕すべきところは随時補修を行い、優先順位を定めながら、安全に通行が出来るよう道路整備を進め

質問 町の道路がひび割れていたり、凸凹と傷んでいるため、道路の整備の必要があると思います。

てまいります。

公園の設立について問う！

金内 優翔 議員



町民の望む公園について整理を行い、利便性の高い公園の整備を行う。

町長 現在、市街地周辺には7箇所の公園などが整備されていますが、近年、特に小さいお子さんをお持ちの方々からご要望が寄せられ、定住支援センター裏に子供たちが自由に走り回れるよう人工芝の整備を行いました。

質問 コロナ禍において政府などでは、外での活動を推奨していますが、町にある公園が少ないため、子供たちが外で遊んでいる姿をあまり見ないと思うので、コロナ禍の今こそ公園を整備する必要があると思います。

利便性の高い公園の整備や既存の公園の在り方も含め、今後も検討を進めていきます。

再質問 走り回れる場所の他に、子供たちが自由に遊べる遊具の設置の検討をお願いします。

町長 遊具の有効性などを検討し、町民の皆さんがどういったものを望んでいるのかを整理させていただいて、今後に活かしていきたいと思っています。

保育士不足について問う！

酒井 光輝 議員



教育委員会や学校と連携を図り検討する。

質問 豊富町の保育士不足を解消するため、小中学校の授業の一環としてお世話活動の実施や、保育補助として高校生のアルバイトを雇用するなど、地元の学生に少しでも保育士という職に興味をもってもらえるような活動を行うのはどうでしょうか。

町長 地元の児童・生徒の方が保育に関心を持っていただくことは大変重要であると考えているため、今後、教育委員会や学校と相談し、どのような形で取り組む事ができるか検討していきます。

また、保育補助として高校生の雇用については、子供の発達の保証や安全面などから雇用することは難しいと考えています。

教育長 小中学校の授業の一環としてお世話活動をするにつきましては、小中学校ではボランティア活動、中学校では職場体験活動として実施が可能なものと考えており、各学校と連携を図りながら検討していきます。

温泉街へのバスの整備を！

越後 優太 議員



利便性・効率性を備えた交通体制への整備の検討を進める。

質問 豊富町の観光地である豊富温泉に学生や子供は行きたくても、車を運転できないため気軽に温泉に行くことができません。多くの町民が気軽に豊富温泉へ行けるよう、豊富町内から温泉街までの交通機関の整備が必要であると考えます。

町長 現在、豊富から温泉街までの交通機関などの状況は、バス・ハイヤー・予約制の有償運送が利用可能となっております。しかし、ご指摘のとおり、利便性が高

く効率的な交通手段の充実、町としても大変重要であると考えており、役場内において、町全体の交通状況の整理を行い協議を進めています。

町民の皆様が利用しやすい交通体系の整備に向け早急に検討を進めていきます。



高校生議会を終えて

田中 里乙 議員



私たちは、1年生から3年間「地域探究」として豊富町や宗谷地方について探究しており、今回の高校生議会では、まちづくりの探究として様々調べた中で出てきた疑問や課題の中から一般質問をさせていただき、貴重な経験となりました。

今後は、いただいた答弁を基に、更に深く私たちなりに探究していきます。

河田町長をはじめとした豊富町役場の皆さん、大変お忙しい中私たちの質問にお答えいただきありがとうございました。

また、豊富町議会議員の皆さんも、サポート授業で様々な角度からアドバイスをいただき、一般質問を作ることができました。ありがとうございました。

私たちは高校生活をあと数カ月で終え、各々の進路に進んでいきますが、この豊富高校で学んだことを活かし、私たちを育ててくれた豊富町を心の拠り所にして歩んでいきます。



こちらをご覧ください！

高校生議会会議録



高校生議会議事日程



スタディサプリの導入を！

酒井 基紀 議員



全児童生徒に対して一律に導入することは難しい。

教育長 進学向けなどの内容であれば、家庭によって違いがあるため、全児童生徒に対して一律に導入し学校で活用していくことは難しいと考えています。
現在、小中学生には、一人一台のタブレット端末が整備されていますが、各学

質問 若い世代の成績をあげることで、未来の豊富町に良い影響を与えることが出来ると考えているため、小中学校からスタディサプリという勉強の効率を上げるためのアプリを導入するのはどうでしょうか。

校が必要とするアプリについては、協議の上導入しておりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

道の駅の設定を！

太田 実那 議員



様々な課題と道の駅の必要性を協議し検討を行う。

町長 道の駅の設定については、過去に本町でも議論がされましたが、国の要綱において様々な条件が付けられており、それを満たす適地が無いことや、施設経営上の問題などから整備を見送ってきた経過があります。

質問 更なる観光客を増やすため、空いている土地を使ったり、豊富駅を改良して新たな施設を作り、豊富のお土産を売る道の駅を作るのはどうでしょうか。
観光客だけでなく、町民も楽しく有意義に過ごせると思います。

道の駅の整備を行う場合、様々な課題が多々ありますが、本町における道の駅の必要性も含め、より多くの意見を伺いながら検討を行います。



町民インタビュー 議員が気になった町民をピックアップして対談をしていきます!

気になるアノ人に聞いてみました!

夫婦で酪農を営み、
毎日美味しい豊富牛乳を作る

石川 善規さん (30歳)
優紀さん (31歳)

令和元年12月より豊富町で新規就農を始められ、子育てと両立しながら酪農を営まれている石川さんご夫婦にお話を聞きました。

(12月23日)

聞き手/水戸部正博 千葉久



—豊富町に来たきっかけを教えてください。

優紀さん：農協に勤め事務をしていましたが、現場で働きたいという気持ちがあり、豊富町の農家さんを紹介していただき研修を始めました。研修に入るには夫婦じゃないといけなかったため、彼を誘い二人で豊富町に来ました。

善規さん：僕は元々北海道の和牛の牧場で働いていましたが、仕事を辞めて地元の山口県で他の仕事をしていました。やっぱり牛に携わる仕事に戻りたいという気持ちがあったところ、お誘いをいただいたので豊富町で酪農を始めました。

—現在のお仕事内容を教えてください。

優紀さん：豊富町の有明地区で酪農を営んでいます。有明地区は市街地へのアクセスが良くないですが、酪農をやるにはとても向いていると思います。

善規さん：国道沿いで酪農をされている農家さんのお話を聞くと、たい肥をまいたり、トレーラーを走らせるのととても気を遣うと聞くので、ここは周りも農家さんが多く山の中でのびのびと仕事ができています。

—豊富町の魅力を教えてください。

優紀さん：豊富町の役場や農協の職員の方は、酪農

に対する知識や経験のある方が多く、酪農をやるにはとても心強いです。

善規さん：酪農がこれだけできるところが豊富町だからこそだと思いますし、自然が多くて涼しく、子供と遊ぶときは外遊びが増えるので、そこも魅力だと思います。

—豊富町に必要なもの・不便なことはありますか？

優紀さん：保育園へのバスが欲しいなと思います。送迎バスはあるようですが、年齢制限や登園のみなどの条件があるため、利用しやすくなるといいなと思います。

善規さん：緊急の連絡をFAXだけで周知するのではなく、SNSも使用してほしいです。例えば、漏水が発生し役場から断水の連絡がFAXで来ても、外で作業をしていると気づくのが遅れてしまうので、豊富町の公式LINEなどを積極的に使用し迅速に周知してもらえたら助かります。

—善規さん、優紀さん、ありがとうございました!

議会レポート

[参加議員 計4名]
・佐々木政義・水戸部正博
・小笠原照美・竹中隆浩



11月25日に広報広聴常任委員会にて、小規模特認校制度に対する理解を深めるため、制度を利用されている8名の保護者の方にご参加いただき懇談会を行いました。
懇談の中では、実際に通われているお子様の様子をお聞きしたり、兜沼小中学校の生徒一人一人の個性を認めた教育方針を知ることができました。
また、校舎の老朽化についての要望も聞きました。今後は、生徒が安全に楽しく学校生活を送れるよう、議会として出来ることを考えてまいります。
お忙しい中、懇談会にご参加いただきありがとうございました。

兜沼小中学校小規模特認校制度利用の保護者の皆様と懇談会を行いました!

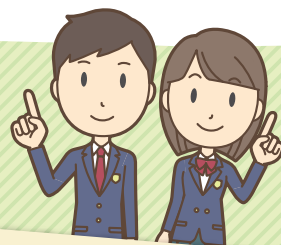
感想 竹中 隆浩 議員

小規模特認校利用の保護者と懇談して、みなさんが口を揃えて子供が明るく楽しく過ごしていて安心できるようになったと話をしていました。
生徒一人ひとりの個性を生かして、できない物を時間をかけて余裕を持った教育方針が素晴らしいと思いました。
手洗場に換気扇がなく、歯磨きが出来ないという声もありましたが、施設の老朽化も見えてきました。



＼ 高校生の声 ＼

豊富の街と温泉街



豊富高校2年生

飯田 成実さん



私は中学校の頃に温泉街から豊富の中心街に引っ越してきました。同じ豊富町内でも少しだけ違う2つの場所に住んだことから気付いたそれぞれの良さがあります。

1つ目は、どちらも周りの人たちが温かったことです。小学生の頃、少ないご近所さんが遊んでくれたり、温泉街の人みんなで行ったお神輿がとても楽しくて記憶に残っています。

2つ目は、中心街だと公園が色々なところにあって友人と遊べる場所が多かったことです。今は遊具が無くなってしまった場所も増えてきましたが、定住支援センターなど気軽に行ける場所が増えてきて便利です。

このように豊富は街の中もちょっと離れた温泉街も良いところがたくさんあります。ぜひ温泉街のイベントにも足を運んでみてください。

＼ 中学生の声 ＼

豊富町の魅力



豊富中学校3年生

竹中 瑠花さん

私が思う豊富町の魅力は、牛乳だと思います。豊富町は環境がすごく良く、牛がストレスなく、のびのびと成長することができます。ストレスが少ないので、よりおいしい牛乳ができていないのでしょうか。他の牛乳と飲み比べてみても、すごくおいしいです。この牛乳を使って、ヨーグルトなどの加工食品もたくさん作られています。豊富牛乳は、北海道内のコンビニだけではなく、全国の様々な場所で売られていると聞いたことがあります。北海道内だけではなく、全国各地で売られているのは、とてもすごいことです。今でも、全国に広がっていますが、もっともっとたくさんの人に知られ、たくさん飲んでいただけるようになったらいいなと改めて思いました。これから、もっと多くの人に豊富牛乳を知ってもらうために、私たち学生ができることを見つけていきたいと思いました。



次回定例会は

3月です

(3月中旬開催予定)

議会を傍聴してみませんか



議員は議場でどんな発言をしているのか。どんなまちづくりを考えているのか。今後の町の方向性を直接聞くことができるいい機会です。ぜひ、お越しください。

豊富町議会広報誌
議会とよとみ 第238号

発行日/令和4年2月24日

発行責任者/議長 千葉 久

編集/広報広聴常任委員会

【豊富町議会事務局】

〒098-4110 北海道天塩郡豊富町大通6丁目

TEL 0162-82-1001 FAX 0162-82-2806